科目ナンバリング	G-LAS00 80011 LJ47						
授業科目名 <英訳>	大学教員になる人のための学生支援論 Lectures on student support for college teachers-to-be.			担当者所属 職名・氏名	学生総合支援機構 教授 杉原 保史 学生総合支援機構 准教授 中川 純子 学生総合支援機構 准教授 村田 淳 学生総合支援機構 講師 和田 竜太 学生総合支援機構 講師 古川 裕之		
群	大学院共通科目群	分野(分類)	社会適合		使用言語	日本語	
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・ 前期集中	曜時限	集中 9/25（水）、26（木） 10:30〜18:00	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

教員には、学生の健康や安全への配慮義務がある。また学生の人権を守ることは、当然のこととして期待されている。現在の大学においてハラスメント予防は重要な問題となっているが、ハラスメント問題の多くは、大学教員が学生の健康や安全への配慮、また学生が抱えている障害への配慮等についての意識が低いことに起因することが多い。ハラスメントを避けるという消極的目標を超えて、学生の人権を尊重した教員-学生関係を積極的に作り上げ、円滑で豊かなコミュニケーションを行い、必要かつ適切な学生支援を行うことができる大学教員になることを目指して、基本的な知識・スキルを身につける。

[到達目標]

学生の権利侵害にならない（ハラスメントにならない）関わり方について学び、意識を高める。自らの人権も相手の人権も尊重するコミュニケーションのあり方について学ぶ。教室や研究室で問題を抱えた学生に早期に気づき、適切に対応するスキルについて学ぶ。障害のある学生への合理的配慮について学ぶ。

[授業計画と内容]

この授業は、（１）オンライン授業（オンデマンド型）による講義と（２）教室における講義と（３）教室における演習の３つによって構成される。受講者は教室における講義と演習に先立って（１）のオンライン授業（オンデマンド型）による講義を受講しておくことが求められる。

教室で行う（２）講義と（３）演習については、９月２５日と２６日の２日間にわたって10:30〜18:00に実施する。オンラインでは実施しない。

（１）オンライン授業（オンデマンド型）による講義（各50分）
① 学生支援の基本理解（杉原）
② 効果的なコミュニケーション（アサーション）（杉原）
③ 問題を抱えた学生の早期発見と適切な対応（古川）
④ ハラスメントにならない指導（中川）
⑤ 現代社会における障害の理解（村田）
⑥ 障害のある学生の権利保障と合理的配慮（村田）

（２）教室における講義
① 学生の諸問題（メンタルヘルス、犯罪、問題行動）（和田）
② 教職員にできる予防的な関わり方（古川）
③ 不登校、引きこもり、意欲喪失の学生への対応（古川）
④ リスク管理、危機管理（古川）
⑤ アンガーマネジメント（杉原）

大学教員になる人のための学生支援論(2)へ続く↓↓↓

大学教員になる人のための学生支援論(2)

⑥ 障害に関する大学としてのアプローチ（村田）

（３）教室における演習（グループワーク）
① アサーション（杉原）
② 身近なハラスメントについて考える（中川）
③ ハラスメントの相談を受ける（中川）
④ 悩みの相談を受ける（言語）（和田）
⑤ 悩みの相談を受ける（非言語）（和田）
⑥ 悩みの相談を受ける（総合）（和田）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

各担当教員が授業中に課すレポートにより成績評価を行う。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
各担当教員が授業中に適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

各自の興味関心に従って、関連する文献を読むこと、自身の体験を振り返ることなどが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

本科目は大学院教育支援機構が提供する「教育能力向上コース」を構成する科目である。